

使ってみよう(4) ~ クラウド・トランスファー(写真送信サービス) ~

本紙は、N-TRANSFER(以降、本製品)をデジタルフォトフレームなどに接続して、クラウドトランスファー(写真送信サービス)を利用するための手順について説明しています。

※本紙では、携帯電話で送信側/受信側の設定などを行って、送信側からデータを送信(アップロード)して、受信側の本製品に接続したデジタルフォトフレームで受信(ダウンロード)する手順について記載しています。
パソコンを使った設定や他のUSB機器で受信(ダウンロード)する場合については、付属のCD-ROMに収録されている本製品のマニュアルを参照してください。

1. クラウド・トランスファー(写真送信サービス)とは?

デジタルカメラで撮った写真を、ネットワーク上のクラウドサーバーへ送信すると、受信側の本製品に接続されたデジタルフォトフレームなどで受信して、鑑賞することができます。

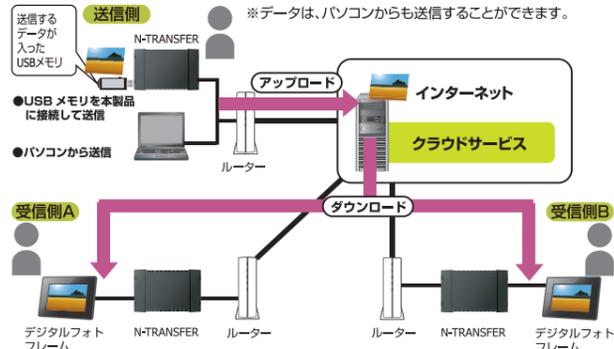
データをクラウドサーバーに送信するには、次の2つの方法があります。

- ① パソコンを使わずに、スキャナーやデータが保存されたUSBメモリなどを本製品に接続して送信する。
- ② パソコンからクラウドサービスのサイトにアクセスして送信する。

【対応クラウドサービス(写真送信サービス)】(平成23年2月現在)
・FileJet

※対応するクラウドサービスは順次追加する予定です。
最新情報は、マイページにてご確認ください。
※クラウドサービスのアカウント情報が必要です。

■サービスイメージ図



■主な利用方法

- ・遠く離れた おじいちゃん・おばあちゃんにいつでも子供の写真を送って見てもらうことができます。
- ・友人連との旅行などの写真を共有してみんなで見ることができます。

3. 接続して利用できるUSB機器

本製品は、下記のUSB機器を接続してクラウドトランスファー(写真送信サービス)を利用することができます。

- ・スキャナー
- ・複合機(MFP)
- ・デジタルカメラ (パソコンとUSBケーブルで接続した際、リムーバブルメディアとして認識できるもののみ)
- ・USBメモリ
- ・デジタルフォトフレーム (データ受信のみ)
- ・メディアカードリーダー (SDメモリーカードやCFカードなど送信したいファイルが保存されたメディアカードが必要)

※最新のUSB機器の対応機種については、マイページを参照してください。
(トップページ → ヘルプメニュー → 対応機器情報)

3. 利用できるまでの手順

クラウドトランスファー(写真送信サービス)が利用できるまでの操作手順は、以下のとおりです。

送信者

クラウドサービスを利用するための登録をします。



クラウドサービスのユーザーアカウント情報を登録します。

※本製品を使ってデータを送信する場合のみ必要。

受信者

データ受信URLを追加します。



デジタルフォトフレーム連携機能の設定をします。

4. 本製品をご利用になる前に

クラウドトランスファー(写真送信サービス)を使ってデータの送受信を行う前に、以下の設定を行います。

送信者側

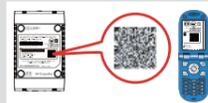
クラウドサービスを利用するための登録をします。

FileJetサービスを利用するために、FileJetサービスサイトにて、事前登録を行ってください。
登録が完了すると、登録した受信者の宛先にデータ受信URLを記載したメールが送信されます。

クラウドサービスのユーザーアカウント情報を登録します。

本製品を使ってデータを送信する場合、クラウドサービスのユーザーアカウント情報を登録します。

1 本製品のラベルに印刷されているQRコードを、携帯電話のバーコードリーダーを使って読み取り、マイページにアクセスします。

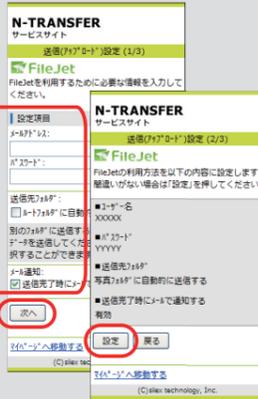


2 マイページのサービス一覧に表示されているFileJetから「送信(アップロード)設定」を押します。



■マイページにFileJetが表示されていないときは…
初期設定では、DATA TRANSFERが選択されています。
マイページの「サービス一覧」にFileJetが表示されていないときは、「設定メニュー」→「利用サービスの管理」から「FileJet」を選択して追加してください。

3 表示されたページで、クラウドサービスのユーザーアカウント情報を入力して、「次へ」を押します。
既にユーザーアカウント情報を登録しているときは、登録されている情報が表示されます。



※こちらで入力する「ユーザID」と「パスワード」は、利用するクラウドサービスのアカウント情報を登録する際に設定した「ユーザID」と「パスワード」となります。
(N-TRANSFERのマイページにアクセスする際に入力する「ユーザID」と「パスワード」とは異なりますので、ご注意ください。)

※「ルートフォルダに自動的に送信する」
チェックを入れて有効にすると、本製品に挿入したUSB機器からデータを送信(アップロード)すると、自動的に選択された送信先フォルダにアップロードされます。
無効にすると、データ送信時に送信先フォルダを選択できます。

「ルートフォルダに自動的に送信する」の「ルートフォルダ」の部分は、前回送信時に選択した送信先のフォルダ名が表示されます。

※「送信完了時にメールで通知する」
チェックを入れて有効にすると、送信の完了をメールでお知らせします。

表示されたページで登録内容を確認して、「設定」を押します。

4 ユーザーアカウント情報の設定が完了しました。



以上で送信側のご利用前の設定は完了です。

Q&A

接続するための設定方法や接続できないときの対処方法、接続するときの注意点などを、付属の取扱説明書に記載しています。

■取扱説明書の参照方法

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のメニュー画面が表示されます。
メニューに表示されている「取扱説明書」ボタンをクリックします。



◆こんな設定方法もあります◆

送信側と受信側の本製品を1台の携帯電話で設定した後、受信者に受信側の本製品を渡し、送信側は、受信者に届くメールも送信者の携帯電話に届くので、受信者は何も操作すること無く受信される写真データを鑑賞することができます。

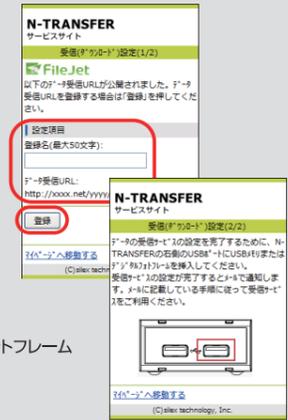
受信者側

データ受信URLを追加します。

1 データをアップロードするフォルダが作成されたことを知らせるメールが届きます。メールに記載されているアドレスにアクセスします。



2 データ受信URLを登録します。
登録名を入力して「登録」を押します。



※本製品が複数台ある場合、登録名を入力するページの前に、データ受信URLを登録する端末を選択するページが表示されます。
端末を選択して「次へ」を押してください。

3 データの受信サービスの設定を終了させるために、本製品の右側(▲▲印)のUSBポートにデジタルフォトフレームを接続します。



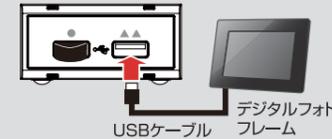
4 データの受信サービスの設定が完了すると、メールで完了の通知が届きます。
デジタルフォトフレームをUSBポートから抜き取ります。



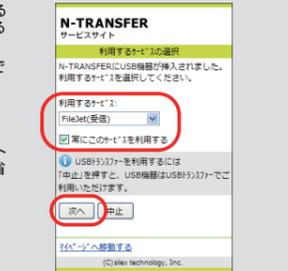
デジタルフォトフレーム連携機能の設定をします。

以下の設定をすることにより、共有しているフォルダに新しいファイルが送信されると、自動的に本製品に接続しているデジタルフォトフレームに受信してファイルが更新されます。

1 本製品の右側(▲▲印)のUSBポートにデジタルフォトフレームを接続します。

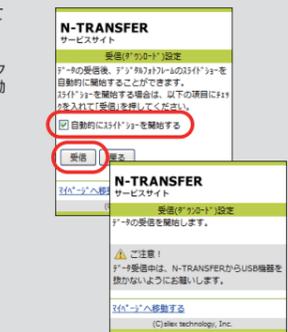


2 携帯電話に、利用するサービスの選択を知らせるメールが届きますので、メールに記載されているアドレスにアクセスします。
表示されたページにある「利用するサービス」で「FileJet(受信)」を選択して、「次へ」を押します。



※「常にこのサービスを利用する」にチェックを入れると、次回の操作から、同じデジタルフォトフレームを接続すると、このページの設定を省略することができます。

3 表示されたページでスライドショーの設定を行って「受信」を押します。



※「自動的にスライドショーを開始する」にチェックを入れると、データ受信後、スライドショーを自動的に開始します。

4 本製品とデジタルフォトフレームの連携機能の設定が完了しました。

以上で受信側のご利用前の設定は完了です。

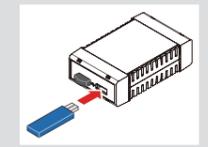
5. データの送信(アップロード)/受信(ダウンロード)をします。

クラウドトランスファー(写真共有サービス)を使ってデータの送受信を行います。

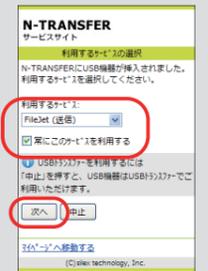
送信者側

データを送信先フォルダに送信します。

1 送信するデータを保存したUSBメモリーを、本製品の右側(▲▲印)のUSBポートに接続します。



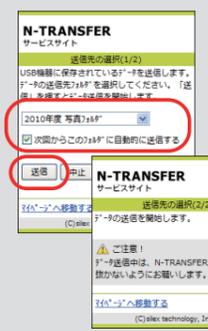
2 携帯電話に利用するサービスの選択を知らせるメールが届きますので、メールに記載されているアドレスにアクセスします。
表示されたページにある「利用するサービス」で「FileJet(送信)」を選択して、「次へ」を押します。



※「常にこのサービスを利用する」にチェックを入れると、次回の操作から、同じUSBメモリーを挿すと、このページを省略することができます。



3 データの送信先フォルダを選択するための確認メールが届きます。
メールに記載されているアドレスにアクセスします。
表示されたページで、データの送信先フォルダを選択して、「送信」を押します。



※「次回からこのフォルダに自動的に送信する」を選択すると、次回から自動的に選択した送信先フォルダにデータを送信することができます。

4 送信を開始します。
データの送信が始まると、本製品のLINK LEDが赤色に点灯します。
この間は、USBメモリーを抜かないでください。
USBメモリー内のデータが破損するおそれがあります。



5 送信が完了すると、送信完了を知らせるメールが届きます。
メールの内容を確認して、本製品からUSBメモリーを抜いてください。
以上でデータの送信は完了です。

受信者側

データを送信先フォルダから自動で受信します。

1 共有しているフォルダに新しいファイルがあると、自動的に本製品に接続しているデジタルフォトフレームに受信してファイルを更新します。



2 受信が完了すると、受信完了を知らせるメールが届きます。
データを受信後、スライドショーを自動的に開始する設定にしていると、スライドショーが開始されます。
以上でデータの受信は完了です。

注意事項

・データの送受信中(LINK LEDが赤色点灯)に、本製品に挿したユーザーメモリーやUSBメモリー、記録メディアを抜いたり、本製品の電源を切ったりすると、ユーザーメモリーやUSBメモリー、記録メディアに保存されているデータが破損して認識しなくなるおそれがあります。それらのUSB機器を取り外したり、電源を切ったりするときは、データの送受信が完了したことを確認してから行ってください。
また、静電気や電磁的ノイズの影響を受けたとき、あるいは天災による被害を受けたときについても同様にデータが破損して認識できなくなるおそれがありますのでご注意ください。
ユーザーメモリーやUSBメモリー、記録メディア内のデータが消失、破滅された場合、弊社はその責任を負いかねますのでご注意ください。

・他者に著作権のあるデータを、著作者に無断で第三者に提供することは法律で禁じられています。これに該当するデータは、本製品を使用して送信しないでください。
・大容量のデータを送信すると、受信者の使用しているUSB機器の空き容量をオーバーしてしまう可能性があります。大容量のデータを送信する場合は、あらかじめ受信者に送信するデータの容量を伝えて、受信者が受け取り可能であることを確認してから、操作してください。
・受信するファイルについて
送信者が共有フォルダに送信したファイル、デジタルフォトフレームに受信する場合、自動的に新しいファイル名が付けられて保存されます。(例)fig_number.jpg)